

令和 2 年度

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日



社会福祉法人日高市社会福祉協議会

目 次

令和２年度事業報告

1 社会福祉事業区分 1

(1) 地域福祉事業拠点区分

- ① 法人運営事業
- ② 地域福祉推進事業
- ③ ボランティアセンター活動事業
- ④ 共同募金配分金事業
- ⑤ 生活福祉資金貸付事業
- ⑥ 福祉資金貸付事業
- ⑦ 福祉サービス利用援助事業
- ⑧ 障がい者相談支援事業

(2) ヘルパーステーション拠点区分

- ① 訪問介護等事業
- ② 障がい福祉サービス事業

(3) 総合福祉センター管理・経営事業拠点区分

(4) こまのさと作業所拠点区分

(5) ファミリーサポートセンター拠点区分

2 公益事業区分 37

(1) 地域包括支援センター拠点区分

(2) 障がい者就労支援センター拠点区分

(3) 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

(4) 生活支援体制整備事業

令和 2 年度

事業報告

社会福祉事業区分

社会福祉事業		
Ⅰ 地域福祉事業		
1 法人運営事業	担 当	企画総務係
令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
(1) 法人の組織運営 法人の事業及び経営に透明性と組織基盤の確立を図ります。 ①理事会の開催	(1) 法人の組織運営 法人の使命・理念にもとづき、事業を適正かつ効果的に実施するため、次の業務を行いました。 ①理事会(定数15名)の開催 ○第１回理事会（書面表決） 議案第１号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算（第１号）の同意について 議案第２号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会有期契約職員就業規則の一部改正について 議案第３号 令和元年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計収支決算の承認について 議案第４号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第５号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第６号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会常務理事の選定について ○第２回理事会（出席理事15名、監事１名） 令和２年８月21日(金) 総合福祉センター 議案第７号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算（第２号）の同意について 議案第８号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会副会長の選定について 議案第９号 令和２年度第２回評議員会の開催について ○第３回理事会(出席理事14名、監事１名) 令和３年１月20日(水) 総合福祉センター 議案第10号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算(第３号)の同意について	

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
②評議員会の開催	議案第11号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会地域福祉基金設置規程の廃止について 議案第12号 令和２年度第３回評議員会の開催について 報告第１号 会長及び常務理事の職務執行状況について ○第４回理事会(出席理事11名、監事１名) 令和３年３月18日(木) 総合福祉センター 議案第13号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第４号）の同意について 議案第14号 役員等賠償責任保険契約の締結について 議案第15号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会日高市ボランティア・市民活動支援センター設置規程の制定について 議案第16号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 議案第17号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会定款変更について 議案第18号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会理事・監事及び評議員選任規程の一部改正について 議案第19号 令和３年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の同意について 議案第20号 令和３年度第１回評議員会の開催について ②評議員会(定数39名)の開催 ○第１回定時評議員会（書面表決） 議案第１号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算（第１号）の承認について 議案第２号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会有期契約職員就業規則の一部改正について 議案第３号 令和元年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計収支決算の承認について

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
③評議員選任・解任委員会 ④監査の実施	議案第４号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会理事の選任について ○第２回評議員会（出席評議員27名） 令和２年９月25日（金） 総合福祉センター 議案第５号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算（第２号）の承認について ○第３回評議員会（出席評議員26名） 令和３年１月25日（月） 総合福祉センター 議案第６号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会一般会計補正予算（第３号）の承認について 議案第７号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会地域福祉基金設置規程の廃止について ○第４回評議員会（出席評議員24名） 令和３年３月24日（水） 総合福祉センター 議案第８号 令和２年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第４号）の承認について 議案第９号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会日高市ボランティア・市民活動支援センター設置規程の制定について 議案第10号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 議案第11号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会定款変更について 議案第12号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会理事、監事及び評議員選任規程の一部改正について 議案第13号 令和３年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画並びに一般会計収支予算の承認について ③評議員選任・解任委員会の開催 令和２年６月17日（水） 総合福祉センター 議題 評議員の選任について ④監査の実施 ○令和元年度事業及び決算に関する監査 令和２年５月28日（木） 総合福祉センター

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
⑤三役会議の開催	⑤三役会議 会の重要事項等の審議のため三役（会長・副会長・常務理事）による会議を開催しました。 ○第１回 令和２年４月２３日（木） 総合福祉センター 協議事項 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響について ①対応状況について（報告） ア 緊急小口資金等の貸付相談対応状況について イ 地域福祉事業関連について ウ こまのさと作業所の対応について エ 総合福祉センター運営管理について オ 職員の勤務体制等について ②年間計画の概要について（説明） ③今後の対応について（協議） 報告事項 寄付の受入状況について（以下毎月） ○第２回 令和２年５月１９日（火） 総合福祉センター 協議事項 ①第１回理事会・第１回定時評議員会議案について 報告事項 ①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応について ○第３回 令和２年６月２４日（水） 総合福祉センター 協議事項 ①組織体制の見直しについて ②令和２年度実施予定事業の見直しについて ③令和２年度重点事業、新規事業について ○第４回 令和２年７月１６日（木） 総合福祉センター 協議事項 ①災害に備えた取組の現状と課題について 報告事項 ①彩の国ボランティア体験プログラム事業について ○第５回 令和２年８月２１日（金） 総合福祉センター 協議事項 ①令和２年度第２回理事会議案について ②第３４回日高市社会福祉大会の開催について

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
	○第６回 令和２年９月２５日（金） 総合福祉センター 協議事項 ①社会福祉協議会事業実施体制について ②令和２年度第３４回日高市社会福祉大会 表彰候補者について 報告事項 ①令和２年度・第７回地域福祉フォーラムについて ②日高市地域支え合い体制整備運営事業 地域福祉連絡会について ③高麗地区での地域おたすけ隊設立に向けた取組について ○第７回 令和２年１０月２３日（金）総合福祉センター 協議事項 ①第３４回日高市社会福祉大会について 報告事項 ①埼玉県社会福祉大会受賞者について ②令和２年度社協会員会費実績について ○第８回 令和２年１１月１２日（木） 総合福祉センター 協議事項 ①第３４回日高市社会福祉大会プログラム （案）について 報告事項 ①福祉のまちづくり活動助成金について ○第９回 令和２年１２月２３日（水） 総合福祉センター 報告事項 ①第３回理事会・評議員会議案について ②事務局組織の見直しについて ③職員採用について ④ひだかボランティア・市民活動支援センター（仮称）について ○第１０回 令和３年１月２０日（水） 総合福祉センター 協議事項 なし ○第１１回 令和３年２月１８日（木） 総合福祉センター 協議事項 ①令和３年度社会福祉協議会事業計画の 要点について ②職員採用について ○第１２回 令和３年３月５日（金） 総合福祉センター 協議事項 ①理事・評議員定数並びに選任規程の改 正について ②第４回理事会・第４回評議員会提出議 案について

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題															
⑥財源確保の促進 ア 区・自治会、事業所等の協力を得て会員を募集します。 イ 不要な入れ歯や使われないアクセサリーの回収を行います。 ⑦研修事業の実施 組織力を高め、資質向上のための職員研修を行います。 ⑧その他 ア 日高市手作り凧揚げ大会等の事業への後援を行います。 イ 埼玉県「多様な働き方実践企業」の認定を受け、女性職員が働きやすい環境を整えます。 ウ 特定個人情報（マイナンバー）の保護に関する規定を順守し、適正な対応ができる体制整備に努めます。 エ 組織情報管理運用体制の強化及び労働環境改善に向け、新たな人事給与システムの導入を進めます。 【新規】	⑥財源確保の促進 ア 社協会員の加入促進 会員加入増強期間（７月～８月）を中心に、住民への啓発を促進するとともに、福祉委員（区長）等の協力を得て啓発に努めました。 <table><tr><th>区 分（年額）</th><th>令和２年度実績額</th><th>対前年比</th></tr><tr><td>一般会員(500 円)</td><td>4, 160, 500 円</td><td>△310, 000 円</td></tr><tr><td>賛助会員(2, 000 円)</td><td>178, 000 円</td><td>△90, 000 円</td></tr><tr><td>特別会員(10, 000 円)</td><td>70, 000 円</td><td>△360, 000 円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4, 408, 500 円</td><td>△760, 000 円</td></tr></table> イ 市役所及び総合福祉センターに設置された入れ歯回収ボックスより回収を行い、43, 947円となりました。 ⑦職員研修は実施しませんでした。 ⑧その他 ア 日高市手作り凧揚げ大会等、多くの事業が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、後援申請も例年より減少しましたが、全７事業に対して後援しました。 イ 育児休業を取得しました。（１名） ウ マイナンバーの保護に関する規定を順守し、適正な管理運営を図りました。 エ 新たな人事給与システム導入に向けて、業者を選定し、運用方法及び使用方法の確認を行いながら作業を進めることが出来ました。（現在継続中） 【令和２年度の総括】 社協会員会費については、コロナ禍における事業所の状況等を踏まえ、積極的な募集を控えました。運営財源確保と併せ、法人運営コストの削減、事業の選択と集中などの対応を進める必要があります。 また、職員のスキル向上を目的とした研修機会の設定や、コミュニケーションの円滑化など、人材育成に関する対応が不十分であり、課題となっています。	区 分（年額）	令和２年度実績額	対前年比	一般会員(500 円)	4, 160, 500 円	△310, 000 円	賛助会員(2, 000 円)	178, 000 円	△90, 000 円	特別会員(10, 000 円)	70, 000 円	△360, 000 円	合 計	4, 408, 500 円	△760, 000 円
区 分（年額）	令和２年度実績額	対前年比														
一般会員(500 円)	4, 160, 500 円	△310, 000 円														
賛助会員(2, 000 円)	178, 000 円	△90, 000 円														
特別会員(10, 000 円)	70, 000 円	△360, 000 円														
合 計	4, 408, 500 円	△760, 000 円														

2 地域福祉推進事業	担 当	地域福祉係
令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
(1) 地域福祉活動促進事業 学校区を住民主体地域活動圏域として、コミュニティソーシャルワーカー及び相談支援包括化推進員が、地域における体制構築を支援します。 ①コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 ②日高市地域支え合い体制整備運営事業（市受託事業） 住民に身近な圏域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備を進めます。 ア モデル地域の選定 イ 地域福祉連絡会の開催支援 ウ 地域支え合いの取組を促進するための支援	(1) 地域福祉活動促進事業 地域性を重視した取組を進めるため、CSWを配置し地域からの相談や連絡調整等に対応しました。 ①CSWの配置 ・CSW 1人（兼務による配置）※前年度比－2名 ②地域福祉連絡会の開催 ・モデル地区において地域福祉連絡会を開催 ア 高根地区 第2回：令和2年8月19日（木） （内容） 地域福祉推進組織について・地域支え合いに関する住民アンケート結果の報告 第3回：令和2年10月20日（火） （内容） 地域アセスメント結果報告・地域福祉推進組織の機能と構成員について 第4回：令和2年12月16日（水） （内容） 地域福祉推進組織の機能と構成員について イ 武蔵台地区 第2回：令和2年8月26日（水） （内容） 地域福祉推進組織について・地域支え合いに関する住民アンケート結果の報告 第3回：令和2年10月28日（水） （内容） 地域アセスメント結果報告・地域福祉推進組織の機能と構成員について 第4回：令和2年12月23日（水） （内容） 今後の説明「地域福祉推進組織=地区支え合い協議会（仮称）について」 ③令和2年度「高齢社会フォーラム in 東京」 第7回日高市地域福祉フォーラムでの実績をもとに、職員が分科会への出席を依頼され、パネリストとして登壇しました。 ・主 催 内閣府（後援：文部科学省、厚生労働省） ・日 程 令和3年1月18日（月） ・方 法 無観客開催（YouTubeによるlive配信） ・テーマ 改めて考えよう。ウィズコロナをふまえた高齢社会の未来像	

(2) 日高市地域支え合い事業

地域住民同士に支え合いの具体的な取組のメニューとして地域に提案し、その拡充を図るものです。

地域で「地域おたすけ隊」の説明会を実施し、既実施地域の拡大、新規協力会員の増加を促進します。

①地域おたすけ隊運営支援

生活支援サービスの保険加入や通信補助等運営支援を行います。

(2) 日高市地域支え合い事業

援助を必要とする高齢者等を元気な高齢者等が支援することにより、生きがいつくりや介護予防を進めるとともに、地域商品券を発行し、地域の商業振興等を図ることを目的に実施しました。

① 地域おたすけ隊運営支援

ア 運営支援(業務委託)

住民相互の有償によるサービス提供を図るため、地域おたすけ隊の設置及び運営を地区ボランティア等に委託して実施しました。

【運営委託先】(委託による事業開始年月日)

- ・こま武蔵台福祉ネット(平成23年1月31日)
- ・日高団地自治会(平成23年1月31日)
- ・たかね地域おたすけ隊(平成25年10月1日)
- ・原宿地域おたすけ隊(平成29年10月1日)

【活動実績】

区 分	令和2年度	対前年比
利用件数	1,866件	△1,199件
利用時間数	2,444.5時間	△1,665時間
※運転付添時間	1,536.5時間	△1,043時間
利用者登録数	818人	20人
ボランティア数	144人	9人
地域支え合い協力店舗	98店舗	1店舗

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、緊急事態宣言が発令された令和2年4月～5月末までの間、地域おたすけ隊に対して活動自粛を要請しました。緊急事態宣言解除後も状況に合わせ、屋内での作業は自粛を要請しました。

【コーディネーター会議】

活動推進上の留意点等の確認及び情報共有を目的に実施しました。

- ・第1回 令和2年7月9日(木)
- ・第2回～第4回：新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止

【付添移送活動の支援】

地域おたすけ隊による運転を伴う付添活動を支援する

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題												
②地域支え合い協力店・地域商品券事務 ③地域支え合いの財源確保の強化 自動販売機の設置等による財源確保に向けた取組を広く周知、強化します。	ため、委託団体との間で社協所有車輛の運行管理業務を委任し、活動に使用する車輛を提供することで活動を支援しました。また、活動者に安心して支援に参加していただくため、移送支援者講習会参加者に対し受講料を補助しました。 ②地域支え合い協力店・地域商品券事務 地域商品券を発行、管理し、協力店等で利用できるよう拡大を図りました。 <table><tr><td>年間換金取扱金額</td><td>2,645,400 円(前年比△614,200 円)</td></tr></table> ③地域支え合いの財源確保の強化 自動販売機（１台）を設置し、財源の確保に努めました。設置個所の拡大が課題です。	年間換金取扱金額	2,645,400 円(前年比△614,200 円)										
年間換金取扱金額	2,645,400 円(前年比△614,200 円)												
(3) 福祉のまちづくり活動助成事業 区や自治会で取り組まれる地域福祉活動等に助成金を交付し、住民同士の親睦を深め、もって地域支え合いの機運を高める取組を進めます。 ①福祉のまちづくり連絡会設置補助金 福祉のまちづくり連絡会設置地区（市内２地区）に補助金を交付し、地域福祉の推進を支援します。 ②福祉のまちづくり活動助成金の交付 区や自治会で取り組まれる敬老会やサロン活動等の交流を目的とした行事や活動に助成金を交付し、住民同士のつながりの維持向上を支援します。	(3) 福祉のまちづくり活動助成事業 ①福祉のまちづくり連絡会設置補助金 身近な地域における組織的なたすけあい活動を促進するため、福祉のまちづくり連絡会の運営を支援しました。 ・こま武蔵台福祉のまちづくり連絡会 ・宮前福祉のまちづくり連絡会 ②福祉のまちづくり活動助成金の交付 区・自治会を範囲とする地域福祉活動の振興等を目的に助成金を交付しました。 【助成実績一覧】 <table><tr><th>内訳</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>助成決定件数</td><td>20 件</td><td>△51 件</td></tr><tr><td>助成金交付総額</td><td>344,500 円</td><td>△840,200 円</td></tr><tr><td>特別助成件数(円)</td><td>1 件(13,150 円)</td><td>1 件</td></tr></table>	内訳	令和２年度	前年比	助成決定件数	20 件	△51 件	助成金交付総額	344,500 円	△840,200 円	特別助成件数(円)	1 件(13,150 円)	1 件
内訳	令和２年度	前年比											
助成決定件数	20 件	△51 件											
助成金交付総額	344,500 円	△840,200 円											
特別助成件数(円)	1 件(13,150 円)	1 件											
(4) 市民生活支援事業 (地域における公益的な取組) ①福祉用具の貸出 緊急かつ一時的に車いすやポータブルトイレ等が必要となった場合に貸し出します。	(4) 市民生活支援事業(地域における公益的取組) ①福祉用具の貸出 社協会員支援として、緊急一時的に福祉用具が必要となった人へ貸出しました。 ②レクリエーション・視聴覚機材の貸出												

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題																					
②レクリエーション・視聴覚機材の貸出 地域での交流や学習をより効果的なものとするための機材を貸し出します。 ③福祉自動車等の貸出 障がい者や難病のかたなどの外出を支援するため、福祉自動車等の車輛を貸し出します。	<table><tr><th>内訳</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>福祉用具の貸出</td><td>４５件</td><td>△７件</td></tr><tr><td>その他視聴覚等機材の貸出</td><td>２５件</td><td>△１２５件</td></tr></table> ③福祉自動車等の貸出 緊急一時的に福祉車両（車いすスロープ付き軽自動車）を必要とする人に貸出を行いました。 また、コミュニティ活動やボランティア活動の支援のため、所有車輛の貸出を行いました。 <table><tr><th>内訳</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>福祉車輛の貸出</td><td>４２件</td><td>△１９件</td></tr><tr><td>その他車両の貸出</td><td>１件</td><td>△１０件</td></tr></table>	内訳	令和２年度	前年比	福祉用具の貸出	４５件	△７件	その他視聴覚等機材の貸出	２５件	△１２５件	内訳	令和２年度	前年比	福祉車輛の貸出	４２件	△１９件	その他車両の貸出	１件	△１０件			
内訳	令和２年度	前年比																				
福祉用具の貸出	４５件	△７件																				
その他視聴覚等機材の貸出	２５件	△１２５件																				
内訳	令和２年度	前年比																				
福祉車輛の貸出	４２件	△１９件																				
その他車両の貸出	１件	△１０件																				
(5) 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力 埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会(事務局:埼玉県社会福祉協議会)により実施される生活困窮者支援の一環としての取り組みで、制度の狭間にある問題への対応を進めます。また、取り組みに協力するため、社会貢献活動会費を拠出します。	(5) 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力 生活困窮者自立相談支援事業の受託と併せ、生活困窮者支援体制の充実を図るため、社会貢献活動費を拠出し、現物給付等の支援を実施しました。 【支援件数】令和２年度 <table><tr><th>支援の区分・件数</th><th>給付金額等</th><th>前年比</th></tr><tr><td>医療費 ０件</td><td>０円</td><td>△６，１５０円</td></tr><tr><td>電気料金 ０件</td><td>０円</td><td>△７，０９３円</td></tr><tr><td>ガス料金 ０件</td><td>０円</td><td>△１２，９７７円</td></tr><tr><td>食糧支援 ０件</td><td>０円</td><td>△７，０００円</td></tr><tr><td>灯油料金 ０件</td><td>０円</td><td>△１，８００円</td></tr><tr><td>家賃 ０件</td><td>０円</td><td>△５０，８４０円</td></tr></table> ※支援実績はありませんでした。	支援の区分・件数	給付金額等	前年比	医療費 ０件	０円	△６，１５０円	電気料金 ０件	０円	△７，０９３円	ガス料金 ０件	０円	△１２，９７７円	食糧支援 ０件	０円	△７，０００円	灯油料金 ０件	０円	△１，８００円	家賃 ０件	０円	△５０，８４０円
支援の区分・件数	給付金額等	前年比																				
医療費 ０件	０円	△６，１５０円																				
電気料金 ０件	０円	△７，０９３円																				
ガス料金 ０件	０円	△１２，９７７円																				
食糧支援 ０件	０円	△７，０００円																				
灯油料金 ０件	０円	△１，８００円																				
家賃 ０件	０円	△５０，８４０円																				
(6) 福祉教育・ボランティア学習支援事業 ①学校等における福祉教育プログラムの支援 市内の学校で取り組まれる福祉をテーマとした学習について、プログラムの実施に向けた連絡調整等のほか、職員等を派遣してその取り組みを支援します。	(6) 福祉教育・ボランティア学習支援事業 ①学校等における福祉教育プログラムの支援 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ボランティア協力者への協力依頼は実施せず、職員によるプログラム支援を中心としました。																					

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題																																																																																				
	【福祉教育プログラム支援の実績】 ※表中の人数は延べ人数 <table><tr><th>学校名 (学年)</th><th>区分</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td rowspan="3">高 麗小</td><td>協力者数</td><td>１人</td><td>△８人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>９０人</td><td>０人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>２０５分</td><td>０分</td></tr><tr><td rowspan="3">高 根小</td><td>協力者数</td><td rowspan="3">依頼なし</td><td>△５人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>△４６人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>△１１０分</td></tr><tr><td rowspan="3">高萩北小</td><td>協力者数</td><td>０人</td><td>０人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>２２０人</td><td>△４６人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>２７０分</td><td>９０分</td></tr><tr><td rowspan="3">武蔵台小</td><td>協力者数</td><td>１人</td><td>△１９人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>１０７人</td><td>△２１人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>２４０分</td><td>△８０分</td></tr><tr><td rowspan="3">高麗川小</td><td>協力者数</td><td rowspan="3">依頼なし</td><td>△１２人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>△１４８人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>△１００分</td></tr><tr><td rowspan="3">高 根中</td><td>協力者数</td><td rowspan="3">依頼なし</td><td>△２人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>△４２人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>△１３０分</td></tr><tr><td rowspan="3">高麗川中</td><td>協力者数</td><td rowspan="3">依頼なし</td><td>△８人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>△１５８人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>△１５０分</td></tr><tr><td rowspan="3">ユリイカ</td><td>協力者数</td><td rowspan="3">依頼なし</td><td>△１人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>△４人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>△８０分</td></tr><tr><td rowspan="3">合 計</td><td>協力者数</td><td>２人</td><td>△５５人</td></tr><tr><td>参加児童数</td><td>４１７人</td><td>△４６５人</td></tr><tr><td>時間数</td><td>７１５分</td><td>△５６０分</td></tr></table>	学校名 (学年)	区分	令和２年度	前年比	高 麗小	協力者数	１人	△８人	参加児童数	９０人	０人	時間数	２０５分	０分	高 根小	協力者数	依頼なし	△５人	参加児童数	△４６人	時間数	△１１０分	高萩北小	協力者数	０人	０人	参加児童数	２２０人	△４６人	時間数	２７０分	９０分	武蔵台小	協力者数	１人	△１９人	参加児童数	１０７人	△２１人	時間数	２４０分	△８０分	高麗川小	協力者数	依頼なし	△１２人	参加児童数	△１４８人	時間数	△１００分	高 根中	協力者数	依頼なし	△２人	参加児童数	△４２人	時間数	△１３０分	高麗川中	協力者数	依頼なし	△８人	参加児童数	△１５８人	時間数	△１５０分	ユリイカ	協力者数	依頼なし	△１人	参加児童数	△４人	時間数	△８０分	合 計	協力者数	２人	△５５人	参加児童数	４１７人	△４６５人	時間数	７１５分	△５６０分
学校名 (学年)	区分	令和２年度	前年比																																																																																		
高 麗小	協力者数	１人	△８人																																																																																		
	参加児童数	９０人	０人																																																																																		
	時間数	２０５分	０分																																																																																		
高 根小	協力者数	依頼なし	△５人																																																																																		
	参加児童数		△４６人																																																																																		
	時間数		△１１０分																																																																																		
高萩北小	協力者数	０人	０人																																																																																		
	参加児童数	２２０人	△４６人																																																																																		
	時間数	２７０分	９０分																																																																																		
武蔵台小	協力者数	１人	△１９人																																																																																		
	参加児童数	１０７人	△２１人																																																																																		
	時間数	２４０分	△８０分																																																																																		
高麗川小	協力者数	依頼なし	△１２人																																																																																		
	参加児童数		△１４８人																																																																																		
	時間数		△１００分																																																																																		
高 根中	協力者数	依頼なし	△２人																																																																																		
	参加児童数		△４２人																																																																																		
	時間数		△１３０分																																																																																		
高麗川中	協力者数	依頼なし	△８人																																																																																		
	参加児童数		△１５８人																																																																																		
	時間数		△１５０分																																																																																		
ユリイカ	協力者数	依頼なし	△１人																																																																																		
	参加児童数		△４人																																																																																		
	時間数		△８０分																																																																																		
合 計	協力者数	２人	△５５人																																																																																		
	参加児童数	４１７人	△４６５人																																																																																		
	時間数	７１５分	△５６０分																																																																																		
②家庭介護教室（市受託事業） 介護について体験的に学習できる機会を、専門学校や地域包括支援センターと共同で企画、実施します。 ③社会福祉援助技術現場実習生の受入・指導 今後の社会福祉を担う人材養成を支援します。	②家庭介護教室（市受託事業） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ③社会福祉援助技術現場実習生の受入・指導 【内容及び実績】 受入大学名・学年・人数・期間 ・東京国際大学人間社会学部３年（１人） 新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止 ・文京学院大学人間学部３年（１人） 令和３年２月１５日～３月２日 ８日間（62時間） 【令和２年度の総括】 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、これまでの地域福祉活動の推進が困難な状況が続きましたが、様々な工夫のもと地域支援を継続し、先駆的な取組として多方面から評価を得ることができました。 一方で、CSW の安定的な配置に向けた体制整備が課題です。																																																																																				

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題												
ア 運転ボランティア活動支援	ア 運転ボランティア活動支援 進行性難病の当事者の会と、介護者の会の活動を支援し、所属するかたの社会参加を図るため、運転ボランティアを紹介しました。 【運転ボランティア活動実績】 <table><tr><td>区分</td><td>令和２年度</td><td>前年比</td></tr><tr><td>活動件数</td><td>４件</td><td>△３５件</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>８人</td><td>△１０４人</td></tr><tr><td>活動者数</td><td>４人</td><td>△３５人</td></tr></table>	区分	令和２年度	前年比	活動件数	４件	△３５件	利用者数	８人	△１０４人	活動者数	４人	△３５人
区分	令和２年度	前年比											
活動件数	４件	△３５件											
利用者数	８人	△１０４人											
活動者数	４人	△３５人											
イ 保育ボランティア活動支援	イ 保育ボランティア活動支援 子育て中の人ボランティア活動などの社会活動に積極的に参加する機会を図るため、保育サポーターグループ「ひだまりっ子」の活動支援を行いました。が、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により依頼はありませんでした。 【集団託児保育の活動実績】 <table><tr><td>区分</td><td>令和２年度</td><td>前年比</td></tr><tr><td>保育依頼回数</td><td>０回</td><td>△１５回</td></tr><tr><td>保育依頼人数(子の人数)</td><td>０人</td><td>△７８人</td></tr><tr><td>延べ保育協力者数</td><td>０人</td><td>△５３人</td></tr></table>	区分	令和２年度	前年比	保育依頼回数	０回	△１５回	保育依頼人数(子の人数)	０人	△７８人	延べ保育協力者数	０人	△５３人
区分	令和２年度	前年比											
保育依頼回数	０回	△１５回											
保育依頼人数(子の人数)	０人	△７８人											
延べ保育協力者数	０人	△５３人											
ウ 点字用具の整備	ウ・エ・オ 点字用具の整備及び声のおたより活動の支援を通じて、視覚障がいのある人への情報提供を促進しました。												
エ 声のおたより活動の支援													
オ ガイドヘルプボランティア活動支援													
③日高ボランティアネットの充実・登録支援	③日高ボランティアネットの充実・登録支援 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、説明会は中止しました。 ボラコの部屋ページを活用し、「みんなに元気を届けるプロジェクト」を実施しました。 協力団体：１０団体												
日高ボランティアネットの運営を行い、活用及び周知を図るとともに、ボランティア団体に対し登録説明会を開催し継続的な登録支援を行います。	④コロナ禍におけるボランティア活動状況調査の実施 ・期 間 令和２年１２月１日～１２月２８日 ・対 象 日高市ボランティアセンター登録ボランティア団体(98 団体) ・回答率 68%												

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題															
(2) ボランティア体験学習事業 ①彩の国ボランティア体験プログラムの実施 ②ワークキャンプ事業 ③災害ボランティアに関する活動支援 ア 災害ボランティアセンター訓練 イ 災害時の職員派遣 ④ボランティア講座 ア ボランティア入門講座 イ 視覚障がい者ボランティア講座 ウ 傾聴ボランティア養成講座 エ 介護アロマボランティア養成講座	(2) ボランティア体験学習事業 ①彩の国ボランティア体験プログラムの実施 ボランティア活動への参加のきっかけとするため、夏休みにボランティア体験の機会を提供しました。 【彩の国ボランティア体験プログラムの実績】 <table><tr><th>区分</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>体験プログラム数</td><td>１１メニュー</td><td>△２１メニュー</td></tr><tr><td>活動参加者数(実人数)</td><td>１１４人</td><td>△１２人</td></tr><tr><td>※うち学生参加者数</td><td>７６人</td><td>△３４人</td></tr><tr><td>説明動画再生数</td><td>８５回</td><td></td></tr></table> ②ワークキャンプ事業 実施しませんでした。 ③災害ボランティアに関する活動支援 ア 災害ボランティアセンター訓練 実施しませんでした。 イ 災害時の職員派遣 派遣はありませんでした。 ④ボランティア講座 ア ボランティア入門講座 彩の国ボランティア体験プログラムにおける説明動画を入門講座としました。 イ 視覚障がい者ボランティア講座 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施しませんでした。 ウ 傾聴ボランティア養成講座 ・期 間 令和２年11月10日(火)・11月12日(木) ・参加者 10人 ・講 師 澤村直樹氏(アクティヴリッスン代表) ・方 法 会場受講 ・内 容 傾聴の技法と活動について エ 介護アロマボランティア養成講座 ・期 間 令和２年８月25日(火) ・参加者 17人 ・講 師 大塚真理氏(アロマ講師) ・方 法 オンラインとパブリックビューイング ・内 容 アロマによる認知症予防について 他	区分	令和２年度	前年比	体験プログラム数	１１メニュー	△２１メニュー	活動参加者数(実人数)	１１４人	△１２人	※うち学生参加者数	７６人	△３４人	説明動画再生数	８５回	
区分	令和２年度	前年比														
体験プログラム数	１１メニュー	△２１メニュー														
活動参加者数(実人数)	１１４人	△１２人														
※うち学生参加者数	７６人	△３４人														
説明動画再生数	８５回															

令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
オ 朗読ボランティア養成講座 カ 保育サポーター養成講座 (3) 手話奉仕員養成講習会（市受託事業） 市の委託により、手話奉仕員養成講習会を開催します。 ・基礎コース(上半期) (4) シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 シニア層の社会貢献活動などへの参加を促すとともに、ボランティア団体が地域社会において活躍できるよう支援体制を構築します。 ①ボランティアサポーターズクラブの配置及び運営 ボランティア・市民活動への参加を促進し、市民参加による協働のまちづくりを図るため、ボランティアサポーターズクラブを設置し運営支援を行います。また、ボランティアサポーターによる活動拠点の整備をします。 ②ボランティアサポーターステップアップ講座の開催 ③おとなフェスタひだか2020の開催	オ 朗読ボランティア養成講座 ・期 間 令和3年1月13日(水)～2月10日(水) 全10回 ・参加者 9名 ・講 師 庄野輝子氏(元NHK放送劇団) ・方 法 会場受講とオンライン受講の併用 ・内 容 朗読の技法と活動について カ 保育サポーター養成講座 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施しませんでした。 (3) 手話奉仕員養成講習会（市受託事業） 手話の技術を取得し聴覚障がい者を支援する手話奉仕員を養成するための基礎コースは、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により受託しませんでした。 (4) シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①ボランティアサポーターズクラブの配置及び運営 ・ボランティアサポーターの委嘱 9人 ・会議の開催 9回 ※内7回オンライン会議 ②ボランティアサポーターステップアップ講座の開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施しませんでした。 ③おとなフェスタひだか2020の開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施しませんでした。 ④埼玉県「埼玉人生100年時代の楽しみ方研究所」出張研究会への参加 ・主 催 埼玉県共助社会づくり課 ・有識者 石井大一郎氏(宇都宮大学地域デザイン学部准教授) 澤岡誌野氏(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員) ア ラジオ局FMチャッピーへの出演 オンラインとパブリックビューイングを活用した介護アロマボランティア養成講座の報告及び第7回日高市地域福祉フォーラムの周知。

令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
(5) ボランティア活動等支援事業補助金の交付（市補助事業）	・日 時 令和2年9月11日(金)午後6時25分～7時 イ 出張研究会におけるアドバイザー参加 ①朝霞市の取組について ・日 程 令和2年10月14日(水) ※オンライン会議 ・内 容 朝霞市における地域デビュー支援セミナーの実施について ②本庄市の取組について ・日 程 令和3年3月24日(水) ※オンライン講座 ・内 容 本庄市におけるオンラインを活用した講座の実施について ウ オンライン座談会 ・日 程 令和3年1月13日(水)※オンライン参加 ・報告者 秩父市地域包括支援センター 本庄市地域福祉課 日高市社会福祉協議会 ・内 容 オンライン関連講座の実施について ・見学者 10市町(27名) ・周 知 記録を埼玉県内全市町村へ埼玉県庁より共有を実施 エ 埼玉県共助社会づくり課発行の冊子「どこでもゼミナール」への事例掲載 ・発行日 令和3年3月29日 (5) ボランティア活動等支援事業補助金の交付 申請団体数：19団体 決定団体数：13団体 確定額 847,000円 【助成対象団体・金額の内訳】 ・小さな野草苑の会 (55,000円) ・高麗ねこ家(100,000円) ・ひだか憩いの森サポートクラブ(100,000円) ・日高ガイド(63,000円) ・よつばのクローバー(50,000円) ・高根応援団(70,000円) ・日高まちづくり研究所(100,000円) ・日高市民情報サロンみんひろ(48,000円) ・朗読ボランティアグループ日高もくせいの会(40,000円)

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
	・日高市傾聴ボランティア「うさぎ」(61,000円) ・快サークルコロネット(90,000円) ・鹿山の森を守る会(25,000円) ・森の子育ち場ぼのぼの(45,000円) 【令和２年度の総括】 ボランティア体験学習事業の実施においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から福祉施設等でのプログラムは中止とし、屋外の体験メニュー及び在宅での物づくりメニューを中心としたメニューを実施しました。また、事前説明会は動画配信サイト「YouTube」を活用した説明動画をボランティア団体等の協力により作成し、コロナ禍において、多くの市民にボランティア活動のきっかけを提供することができました。関係者からも取組に対して高い評価をいただきました。 また、ボランティア活動に対するサポートの取組については、ソーシャルネットワークサービス(Facebook)を新しく導入し、情報発信のツールを増やすことで、コロナ禍における中間支援について一定のつながりを保つことができました。また、彩の国ボランティア体験プログラムinHIDAKAでは、中止ではなく、在宅ボランティアやオンラインを併用した講座の実施により、ボランティア活動の機会を提供できました。これらの実績が評価され、埼玉県庁における会議等へも出席依頼が多くありました。 課題として、ボランティアサポーターの具体的な活動展開まで支援することができませんでした。

4 共同募金配分金事業		担 当	地域福祉係
令和２年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
(1) 一般募金配分事業 赤い羽根募金をもとに、次の事業を展開します。 ①心配ごと相談 ②第 40 回福祉スポーツ大会 障がい者のスポーツを通じた健康増進と、社会参加を促進するために開催します。 ③地域居場所づくり支援事業 身近な地域で取り組まれる地域サロン活動の立ち上げを支援します。 ④児童遊園地遊具の管理・整備の支援 ⑤広報事業 社協だより「ひだまり」の発行 ⑥大型印刷物(ポスター)製作支援		(1) 一般募金配分金事業 ①心配ごと相談 市民に身近な相談窓口として、民生委員の協力を得て心配ごと相談を開設しました。 ・開設日程 18 回 ・相談件数 14 件 ②第 40 回福祉スポーツ大会 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止としました。 ③地域居場所づくり支援事業 身近な地域での居場所づくりを進めるため、サロン活動の運営を支援しました。 【登録活動一覧】 別表参照 ④児童遊園地遊具の管理・整備の支援 ・設置箇所 点検業務は実施せず ・撤去箇所 なし ⑤広報事業 ア 共同募金運動の啓発 社協だより「ひだまり」発行 ⑥大型印刷物製作支援 地域福祉・ボランティア活動の広報や啓発を進めるため、ポスターサイズの印刷が可能な拡大印刷機の整備を進めました。 ⑦令和２年度緊急要望事業 「地域おたすけ隊と協力店の応援企画」 コロナ禍において活動する地域おたすけ隊の協力会員への支援及び市内協力店利用促進を目的として、次の取組を実施しました。 ア 地域おたすけ隊協力会員への活動支援のための商品券の上乗せ イ プレミアム付き地域商品券の販売	

令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
ウ 第7回日高市地域福祉フォーラム	ウ 第7回日高市地域福祉フォーラムの開催 ①第7回日高市地域福祉フォーラム ・日 程 令和2年10月9日(金)午後2時～4時 ・テーマ 「新しい生活様式に地域の第3の居場所～オンラインは不要?～」 ・講 師 澤岡詩野氏(公益財団法人ダイヤ高齢者研究財団主任研究員) 牧壮氏(一般社団法人アイオーシニアズジャパン代表理事) ・協 力 ボランティアサポーターズクラブ ・方 法 オンラインとパブリックビューイングの併用による開催 ・参加者 88名(内44名が個人端末によるオンライン参加) ・視 察 埼玉県、埼玉県西部地域振興センター、横浜市、飯能市、上尾市社協、鶴ヶ島市社協、所沢市社協、富士見市社協、朝霞市市民活動支援センター、熊谷市社協、秩父市地域包括支援センター ②日高市地域福祉フォーラムフォローアップ講座 オンラインで開催した地域福祉フォーラムを経て、オンラインでつながるためのフォローアップ講座を埼玉県共助社会づくり課と共催で実施しました。 ・日 程 令和2年12月10日(木) ・講 師 水谷悦夫氏(EMITコンサルタント事務所) ・内 容 オンライン体験 ・会 場 コワーキングプレイスこま ・参加者 7人
エ 地域支え合い促進事業	
オ 福祉広報活動の促進	
カ 小中学生作文コンクール	エ 地域支え合い促進事業
キ おとなフェスタひだか2020	地域居場所づくり支援の取組と併せて実施しました。
ク 訪問カットサービス	オ 福祉広報活動の促進
	社協だより「ひだまり」を発行しました。
	カ・キ 事業を中止しました。
	ク 訪問カットサービス
	・利用申込者 32人 ・協力店舗数 11店(理容3店、美容8店)

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
ケ ホームページ運営	ケ ホームページ運営 ホームページの運営を通じ、共同募金運動等の地域福祉の取組を周知しました。 【令和２年度の総括】 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、イベント等の集合型の取組は中止を余儀なくされましたが、実施方法を工夫しオンラインを併用することで開催できた取組がありました。第７回日高市地域福祉フォーラムは、先駆的な事例として県内外から多くの視察がありました。 共同募金事業は、地域の福祉課題解決に活用できる重要な財源のひとつであり、従来の配分のプロセスやありかたを見直し対応を検討する必要があります。

【別表】サロン登録活動一覧

	団 体 名（登録順）	主な対象	実施場所
1	こま武蔵台福祉ネット（地域交流広場）	高齢者	武蔵台小学校区地域交流広場
2	こま武蔵台福祉ネット（ふれあいサロン）		武蔵台ふれあいサロン
3	介護ネットなごみの会	高齢者	市総合福祉センター
4	チャットルーム（精神保健福祉ボランティア）	障がい	市総合福祉センター
5	ふれあいサービスさくら会	高齢者	高萩団地自治会館
6	ひまわり会	高齢者	鹿山上区公会堂
7	ひだまりサロン	高齢者	こま川団地自治会館
8	快サークル コロネット	障がい	市総合福祉センター
9	おしゃべりサロン協力会	高齢者	日高団地自治会館
10	ちょこっとランチ・トマト会	高齢者	市総合福祉センター
11	ふれあい会	高齢者	日高団地ふれあい館
12	ニコニコひろば	子育て支援	横手台自治会館
13	ひだか子育てネットワーク	子育て支援	市立保健相談センター
14	高萩団地なかよしサロン協力会	高齢者	高萩団地自治会館
15	宮前サロンいこい	高齢者	宮前公会堂
16	サロン ひなた	高齢者	日向自治会館
17	台交流サロン	高齢者	台自治会館
18	地域食堂 ちゃぶ台	複合	高麗公民館ほか
19	おもちゃで遊ぼう会	子育て支援	市総合福祉センター
20	日高市民活動情報サロン みんなひろ	複合	市総合福祉センター
21	ぬくもりげんき食堂	複合	たかねサロン
22	ぷーちゃんち。	子ども	自宅開放
23	トラジションタウン高麗	複合	コミュニティハウスこま舎
24	たかねサロン	複合	たかねサロン
25	ひつじの会	複合	市総合福祉センター

5 生活福祉資金貸付事業		担 当	相談支援係
令和2年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
1 生活福祉資金の貸付 他の機関からの借り入れが困難な低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように実施します。 ①生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金、教育支援資金） ②総合支援資金 ③不動産担保型生活資金 ④要保護世帯向け不動産担保型生活資金 ⑤臨時特例つなぎ資金	1 生活福祉資金の貸付 埼玉県社会福祉協議会からの委託により、生活福祉資金の貸付に関する相談援助を行いました。 (内容及び実績)		
	福祉資金・教育支援資金		1 件
	緊急小口資金		0 件
	総合支援資金		0 件
	不動産担保型生活資金		0 件
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金		
	臨時特例つなぎ資金		0 件
	特例貸付 緊急小口資金		1 9 2 件
	特例貸付 総合支援資金		1 4 2 件
	特例貸付 総合支援資金延長貸付		5 8 件
特例貸付 総合支援資金再貸付		4 7 件	
【令和2年度の総括】 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響受け減収した世帯への特例貸付の申請が増加し、昨年度は1件だった緊急小口資金の申請が192件、0件だった総合支援資金の申請が延長貸付、再貸付も合わせると247件と急増しました。また、新規相談件数も含め相談対応件数は2,513件に激増し職員が対応に追われました。令和3年6月末までが申請期限となっている特例貸付ですが、終了後にはより細やかな支援が必要となると予測されます。			

6 福祉資金貸付事業		担 当	相談支援係	
令和2年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題		
1 福祉資金貸付事業 低所得世帯が、臨時的出費又は収入欠如等のおそれがあるため、生活維持が困難となった場合に、その応急的支援によって生活の安定と自立を助け、住民福祉の向上を図ります。	1 福祉資金貸付事業 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による特例貸付への貸付対応もあり、償還指導を行うことができませんでした。1人への貸付を行いました。			
	(1) 内容及び実績			
	貸付件数		1 件	
	貸付金額		5 0, 0 0 0 円	
	当年度償還済み額		1 5, 0 0 0 円	
	当年度未償還額		3 5, 0 0 0 円	
	(2) 福祉資金貸付現況			
	福祉資金元金現額 ＝ (1) ＋ (2)		1, 1 6 2, 5 9 4 円	
	(1) 預金保有額 ※当年度延滞利子収入		8 2 3, 5 9 4 円 0 円	
	(2) 貸付現額		3 3 9, 0 0 0 円	
	年 度 別 の 内 訳 額	平成17年度	1 件	4 5, 0 0 0 円
		平氏22年度	3 件	9 0, 0 0 0 円
		平成23年度	2 件	8 9, 0 0 0 円
		平成24年度	1 件	3 0, 0 0 0 円
		平成25年度	1 件	2 2, 0 0 0 円
平成26年度		2 件	1 0, 0 0 0 円	
平成27年度		1 件	1 8, 0 0 0 円	
平成28年度		0 件	0 円	
平成29年度		0 件	0 円	
平成30年度		0 件	0 円	
令和元年度		0 件	0 円	
令和2年度	1 件	3 5, 0 0 0 円		
【令和2年度の総括】 特例貸付の活用により、1名のみ利用となっていました。特例貸付終了後には、相談増も予測されるため、より柔軟な対応が求められます。				

7 福祉サービス利用援助事業		担 当	相談支援係																													
令和2年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																														
1 福祉サービス利用援助事業		1 福祉サービス利用援助事業																														
認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が十分でない人が、地域で自立した生活を安心して送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や暮らしに必要なお金の出し入れなどの援助を行います。		埼玉県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分なことにより、自己決定が困難となった高齢者、知的障がい者、精神障がい者が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の生活支援を行いました。																														
(1) 基本 福祉サービスの利用援助		(内容及び実績)																														
(2) 選択 日常生活上の手続き援助																																
日常的金銭管理																																
書類等預かりサービス																																
		<table><tr><td>相談援助件数</td><td colspan="4">9 0 2 件</td></tr><tr><td>区分</td><td>高齢</td><td>精神</td><td>知的</td><td>計</td></tr><tr><td>新規契約件数</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>解約件数</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>契約件数</td><td>6</td><td>3</td><td>4</td><td>1 3</td></tr></table>						相談援助件数	9 0 2 件				区分	高齢	精神	知的	計	新規契約件数	0	1	0	1	解約件数	1	0	0	1	契約件数	6	3	4	1 3
相談援助件数	9 0 2 件																															
区分	高齢	精神	知的	計																												
新規契約件数	0	1	0	1																												
解約件数	1	0	0	1																												
契約件数	6	3	4	1 3																												
		【令和2年度の総括】																														
		定期的な支援計画の評価を実施し、適正に事務を行いました。																														
		今後、判断能力が低下していく人が増えると想定される中、早めに成年後見制度等につないでいくように努めます。																														

8 障がい者相談支援事業		担 当	相談支援係																														
令和２年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																															
1 障がい者計画相談事業	障がい福祉サービスを希望する人に、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、障がい者相談支援センター「ぷらむ」が支援します。 ①サービス利用支援 ②継続サービス利用支援	1 障がい者計画相談事業																															
		障がい福祉サービス等を希望する方に、サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合に、障がい者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、支援を行いました。																															
2 障がい者相談支援事業（市受託事業）	障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行います。	2 障がい者相談支援事業（市受託事業）																															
		日高市からの委託により、障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。 (内容及び実績)																															
		<table><tr><td>契約件数</td><td colspan="5">80件</td></tr><tr><td>区分</td><td>身体</td><td>知的</td><td>精神</td><td>他</td><td>計</td></tr><tr><td>計画相談</td><td>1</td><td>22</td><td>11</td><td>0</td><td>34</td></tr><tr><td>相談支援</td><td>0</td><td>20</td><td>23</td><td>2</td><td>45</td></tr><tr><td>連携</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>		契約件数	80件					区分	身体	知的	精神	他	計	計画相談	1	22	11	0	34	相談支援	0	20	23	2	45	連携	0	0	1	0	1
契約件数	80件																																
区分	身体	知的	精神	他	計																												
計画相談	1	22	11	0	34																												
相談支援	0	20	23	2	45																												
連携	0	0	1	0	1																												
		【令和２年度の総括】																															
		新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、モニタリングなどの訪問ができない時期はありましたが、大きな影響は出ず年間の事業を行うことが出来ました。																															

社会福祉事業

Ⅱ ヘルパーステーション

1 訪問介護等事業

担 当

生活援助係

令和2年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) 介護保険法によるサービスの実施

①身体介護、生活支援

食事、着替え、入浴介助等の身体介護及び、調理、洗濯、掃除、買物等の生活援助の支援を行います。

②相談・助言

生活、身上、介護に関する相談及び助言を行います。

(1) 介護保険法によるサービスの実施

介護保険法に基づき、訪問介護計画を作成し、利用者が自宅で安心かつ、安全な生活が送れるよう適切な援助を実施しました。特にコロナ禍において、体調管理や感染予防対策を徹底し、サービスを行いました。利用者のニーズとケアマネジメントに沿った質の高いサービスの提供に努めました。また、利用者から相談を受けた際は、ケアマネジャーと連携して利用者の不安を解消できるよう対応しました。

【訪問介護 活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和元年度	219	1,444	1,340.4
令和2年度	268	1,692	1,633.0
比較増減	49	248	292.6

【介護予防訪問介護（総合事業） 活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和元年度	371	1,876	1,876.0
令和2年度	434	2,309	2,309.0
比較増減	63	433	433.0

(2)
研修会、
実習

(2) 研修会、実習生の受け入れの実施

①サービスの質の向上や介護技術を高めるために検討会議及び各種研修会を行います。

②介護福祉士養成のための実習の場を提供します。

生の受け入れの実施

①研修会

- ・認知症介護基礎研修
- ・感染症介護基礎研修
- ・その他

②実習生の受け入れ 0人

【令和2年度の総括】

コロナ禍において、実習生の受け入れは中止となりましたが、新型コロナウイルス感染者の発生により、通所事業所が休止となった場合等での訪問介護のニーズが多く、訪問件数は増加しています。

2 障がい福祉サービス事業		担 当	生活援助係																																																
令和2年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																																																	
(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施 ①居宅介護 知的・身体・精神の障がいがあるかた、難病疾患があるかたへの身体介護及び家事援助の支援を行います。生活する中で相談助言を行います。 ②重度訪問介護 日常生活全般に常時支援を要する、脳性まひ等全身性障がい(児)者に対しての日常生活支援を行います。 ③同行援護 屋外での移動に制限のある視覚障がい(児)者に対しての移動介護を行います。 ④移動支援(地域生活支援事業) 屋外での移動に制限のある全身性障がい(児)者及び知的障がい(児)者に対しての移動介護を行います。 (2) 養育支援訪問事業(市受託事業) 家事及び養育の支援が必要な家庭に対して、市の要請に基づきホームヘルパーの派遣を行います。		(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施 在宅生活の維持継続と利用者が自宅において自立した生活が送れることを念頭に居宅計画を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。また、後半にはコロナ禍において、制限がある中でも感染予防対策を徹底し、可能な範囲で家にとじこもることなく、健康増進のため等、一人での外出の困難な障がい者への、外出支援を行いました。 【居宅介護・重度訪問介護・同行援護活動実績】 <table><tr><th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr><tr><td>令和元年度</td><td>170</td><td>1,027</td><td>1638.0</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>119</td><td>890</td><td>1137.3</td></tr><tr><td>比較増減</td><td>△51</td><td>△137</td><td>△500.7</td></tr></table> 【移動支援活動実績】 <table><tr><th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr><tr><td>令和元年度</td><td>60</td><td>91</td><td>499.5</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>38</td><td>59</td><td>211.0</td></tr><tr><td>比較増減</td><td>△22</td><td>△32</td><td>△288.5</td></tr></table> (2) 養育支援訪問事業(市受託事業) 【養育支援活動実績】 <table><tr><th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1</td><td>6</td><td>12</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1</td><td>13</td><td>26</td></tr><tr><td>比較増減</td><td>0</td><td>7</td><td>14</td></tr></table> 【令和2年度の総括】 コロナ禍において、全体的に件数が減少していますが、社会参加よりも健康増進の意味でのニーズが多く、感染予防対策を徹底しつつ、リフレッシュを図る機会の重要性を感じました。		年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和元年度	170	1,027	1638.0	令和2年度	119	890	1137.3	比較増減	△51	△137	△500.7	年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和元年度	60	91	499.5	令和2年度	38	59	211.0	比較増減	△22	△32	△288.5	年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和元年度	1	6	12	令和2年度	1	13	26	比較増減	0	7	14
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和元年度	170	1,027	1638.0																																																
令和2年度	119	890	1137.3																																																
比較増減	△51	△137	△500.7																																																
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和元年度	60	91	499.5																																																
令和2年度	38	59	211.0																																																
比較増減	△22	△32	△288.5																																																
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和元年度	1	6	12																																																
令和2年度	1	13	26																																																
比較増減	0	7	14																																																

社会福祉事業		
Ⅲ 総合福祉センター管理・経営事業		【指定管理事業】
1 総合福祉センター	担 当	企画総務係
令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
1 総合福祉センター運営 高齢者や障がい者の自立促進及び健康増進を図り、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的に、日高市総合福祉センターの指定管理者として、利用者が快適安全に利用できるよう適正かつ効率的な管理運営を行います。 ①会議室等の貸出業務 会議室等の貸出及び利用に際し適切に使用できるよう手続きを行います。 ②施設の維持管理 建物及び施設の管理、保守点検、修繕、清掃などを適切に実施します。 ③施設の防災及び消防訓練の実施 災害を想定し、年2回の消防訓練を実施します。 ④職員の研修 職員の資質向上及び緊急時に適切な対応ができるよう、普通救命講習等の研修を行います。 ⑤その他 多角的に意見を聴取し、運営に反映させるため、運営協議会の実施協力及び利用者アンケートを実施します。	1 総合福祉センター運営 ①会議室等の貸出業務 会議室等の貸出業務を適正に行うとともに、明るい窓口対応、また快適安全にご利用いただくことを心掛けました。 一方、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、4月から7月5日まで休館としました。 営業を再開してからは、新しい生活様式に基づき、各種サービスに利用制限を設けた上で営業しました。それに加えて、正面入り口に臨時窓口を設置し、来館者の手指消毒と検温を実施しました。 緊急事態宣言が発令された2月8日から3月21日までにについては浴室営業を休止し貸室利用時間を短縮しました。 ※部屋別利用実績(別表1)、浴室利用実績(別表2)参照 ②施設の維持管理 経年劣化による不具合がより顕著となりました。 こうした状況下、安定的な運営を確保するため、日常及び定期の保守点検を確実に行うことで異常の早期の発見に努めるとともに、速やかに修繕等を実施しました。 ③施設の防災及び消防訓練の実施 消防計画に基づき、多数の来館者が訪れる施設における火災の場面を想定した、避難誘導・救護・消火等の総合的な訓練を2回実施しました。 ④職員の研修 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、研修は中止となったため、実施できませんでした。 ⑤その他 ・総合福祉センター運営協議会の実施 開催日 令和2年8月28日(金) ・総合福祉センター利用者アンケートの実施 実施期間 令和2年12月1日～15日 【令和2年度の総括】 これまでの対応を踏まえ、感染拡大防止を図りながら、安心して利用できる施設運営を行います。	

(別表1)部屋別利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修室	0	0	10	463	504	1,293	94	119	640	515	384	557
大広間	0	0	0	173	201	193	0	0	185	182	25	63
教養娯楽室	0	0	0	123	212	288	0	0	265	216	147	179
調理実習室	0	0	0	10	30	10	0	0	34	5	0	0
生涯学習室	0	0	136	488	564	674	725	650	521	423	453	573
余暇活動室	0	0	121	291	315	402	471	508	377	159	245	335
会議室A	0	0	68	68	94	100	160	181	117	68	86	133
会議室B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議室C	0	0	29	126	208	266	349	255	249	195	201	278
エントランス	0	0	0	36	33	68	49	43	50	52	42	48
グラウンド	0	0	351	268	391	332	338	345	400	326	315	338
合 計	0	0	715	2,046	2,552	3,626	2,186	2,101	2,838	2,141	1,898	2,504
前年度比	△ 7,335	△ 6,043	△ 5,654	△ 5,072	△ 3,449	△ 3,110	△ 6,974	△ 5,907	△ 3,154	△ 3,642	△ 3,660	2,114

(別表2)浴室利用実績

単位：人

	広域内		広域外	人数計	前年度比
	100円	200円	600円		
4月	0	0	0	0	△ 4,402
5月	0	0	0	0	△ 4,361
6月	0	0	0	0	△ 3,967
7月	1,197	57	11	1,265	△ 3,044
8月	1,527	80	4	1,611	△ 2,487
9月	1,557	72	1	1,630	△ 1,537
10月	1,867	62	0	1,729	△ 2,383
11月	1,779	96	4	1,879	△ 2,453
12月	1,861	107	1	1,769	△ 2,518
1月	1,815	102	0	1,917	△ 2,490
2月	444	19	0	463	△ 4,271
3月	552	25	6	583	245
合計	12,199	620	27	12,846	△ 33,668
前年度比	△ 31,361	△ 2,119	△ 188	△ 33,668	
月平均	1,017	52	2	1,071	

前年度の9月に実施していた65歳以上の方を対象とした老人週間は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、中止としました。

社会福祉事業

Ⅳ こまのさと作業所

1 こまのさと作業所	担 当	生活援助係
令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
1 こまのさと作業所の運営 障害者総合支援法に基づき、障がいのある利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者及び家族の意向、適性・障がいの特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切・効果的な日中活動サービスを実施します。 (1) 就労継続支援B型事業所の運営 地域社会との交流を深め、関係機関との連携を図り、地域の中で社会の一員として意欲と生き甲斐を持って生活するための支援を行います。 ①身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ②社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ③地域のイベントへの参加 ④余暇活動、レクリエーションの実施 ⑤送迎車の運行 希望する利用者の自宅又は指定場所までの送迎を実施することで、利用者の通所時の安全確保と、保護者の負担軽減を図ります。 (2) 就労支援事業の実施 障がいがあってもその人らしく誇りとやりがいを持って、安心して快適に就労するための支援を行います。 ①請負作業 ア ギフト商品に関する作業 イ 金属ボルトの計数・結束作業	1 こまのさと作業所の運営 対 象 者：身体障がい者、知的障がい者（18歳以上） 開 所 日：月曜日～金曜日（祝日を除く） 開所時間：午前9時30分～午後4時 開所日数：238日 利用者数：28名（男18名、女10名） 年間延べ5,074人 1日平均21.3人 利用率106.6% (1) 就労継続支援B型事業所の運営 ①身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ア 着替えや整容、食事や排泄の支援 イ 掃除や洗濯等スキルの向上 ②社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ア グループ外出プログラム：中止 イ 日帰りバス旅行：中止 ③地域のイベントへの参加 福祉スポーツ大会：中止 あいあいまつり：中止 赤い羽根街頭募金活動：中止 日高市民まつり：中止 ④余暇活動、レクリエーションの実施 令和2年10月30日(金)野外活動・バーベキュー 令和2年12月25日(金)クリスマス忘年会 ⑤送迎車の運行 コ ー ス：高麗、高麗川、高萩コース 運行日数：232日 利 用 者：28人 年延べ利用者：8,323人（往復） （1日平均17.9人） (2) 就労支援事業の実施 ①請負作業 ア (株)サンシャイン企画（日高市）	

ウ ガスメーターの組立作業 エ 紙袋の底板入れ・タッグ付作業 オ 新規取引先の開拓 カ 施設外就労 ②自主製品製造販売事業 ア 古紙リサイクル植木鉢 イ 廃油リサイクル石けん ウ 手作りマスク ③一般就労に向けた支援 ア 職場実習 イ 求職活動支援	イ (株)アムハード小西 (日高市) ウ (株)クリエイト電子 (鶴ヶ島市) エ (有)福栄商産 (狹山市) オ 市総合福祉センター (日高市) 洗濯作業 (有) プラスワン (坂戸市) 種の袋入れ作業 カ 実施なし 令和2年度請負作業収入 3,148,719 円 (前年度比 623,804 円) ②自主製品製造販売事業 (主な常設販売スペース) ・市総合福祉センター ・農協日高中央直売所 ・朝採れファーム高麗郷 ・その他 (注文、出店販売、その他) 令和2年度自主製品事業収入 273,827 円 (前年度比 △293,472 円) ③一般就労に向けた支援 実施なし ④その他 日高市集団資源回収奨励報奨金 令和2年度資源回収事業収入 69,600 円 (前年度比 △310 円) 【令和2年度の総括】 コロナ禍において、サービスが途切れることなく提供できるように感染予防対策を徹底しました。地域のイベントの中止により自主製品事業収入は減少しましたが、新規取引先が2ヶ所増えたため、請負作業収入は増加しました。 また、毎月実施していたグループごとの外出プログラムも中止となりましたが、可能な範囲でリフレッシュする機会を作り、利用者の健康増進・モチベーションを維持し、安心・快適な日中活動サービスを実施しました。
社会福祉事業	

Ⅴ ファミリーサポートセンター		【市受託事業】																
1 ファミリーサポートセンター		担 当	地域福祉係															
令和２年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																
(1) ファミリーサポートセンター事業 子育ての援助をしたい人（協力会員）と援助をしてほしい人（利用会員）の双方が会員となり、会員間の援助活動の調整を行うことで、子育て支援を促進するため、日高市ファミリーサポートセンターを運営します。 ①会員の募集、登録その他会員組織の運営 ②援助活動の調整及びあつ旋 ③会員に対して、援助活動に必要な知識を付与するために行う講習会等の開催 ④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催 ⑤アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任 ⑥アドバイザーのスキルアップのための研修会参加		(1) ファミリーサポートセンター事業 ①会員の募集、登録その他会員組織の運営 ・会員登録の状況 <table><tr><th>内 訳</th><th>令和２年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>利用会員</td><td>１６７人</td><td>８人</td></tr><tr><td>協力会員</td><td>７７人</td><td>７人</td></tr><tr><td>両方会員</td><td>５人</td><td>Δ２人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>２４９人</td><td>１３人</td></tr></table> ②援助活動の調整及びあつ旋（表１参照） ③協力会員講習会 【協力会員研修（基礎講習）】 ・令和２年 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止 【協力会員研修（ステップアップ講習）】 ・令和２年 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止 ④会員交流会 ・令和２年 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止 ・強化月間・交流日・アンケート 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によりアンケートのみ実施 ⑤アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任 未選任。運営体制について検討 ⑥アドバイザーのスキルアップのための研修会参加 虐待防止・子育て支援研修 ・令和２年９月１６日（火）埼玉県庁第３庁舎講堂「ファミリー・サポート・センターのこれから～コロナ時代の子育て支援を考える～」 ・令和２年１０月２２日（木）（zoom）		内 訳	令和２年度	前年比	利用会員	１６７人	８人	協力会員	７７人	７人	両方会員	５人	Δ２人	合 計	２４９人	１３人
内 訳	令和２年度	前年比																
利用会員	１６７人	８人																
協力会員	７７人	７人																
両方会員	５人	Δ２人																
合 計	２４９人	１３人																

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題												
⑦広報（ファミサポ通信の発行）	⑦広報（ファミサポ通信） ファミリーサポートセンターの取組を周知するとともに、会員間の情報交換を目的に発行しました。 （発行日） 第23号 令和２年 ５月号 第24号 令和２年 ８月号 第25号 令和３年 ２月号												
(2)産前産後家庭サポート事業	(2)産前産後家庭サポート事業												
①サポーターの募集・登録その他会員組織の運営	①サポーターの募集・登録その他会員組織の運営 ・登録の状況												
	<table><tr><td>内 訳</td><td>令和２年度</td><td>前年比</td></tr><tr><td>新規利用者</td><td>５人</td><td>２人</td></tr><tr><td>サポーター</td><td>２７人</td><td>７人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>３２人</td><td>９人</td></tr></table>	内 訳	令和２年度	前年比	新規利用者	５人	２人	サポーター	２７人	７人	合 計	３２人	９人
内 訳	令和２年度	前年比											
新規利用者	５人	２人											
サポーター	２７人	７人											
合 計	３２人	９人											
②援助活動の調整及びあつ旋	②援助活動の調整及びあつ旋 ・活動時間数（表２参照） 活動件数７回、利用者実人数４人、対応サポーター実人数５人												
③サポーターの養成	③サポーターの養成 ・サポーター講習会 令和２年９月29日(火) ７人 ・会 場 市総合福祉センター「高麗の郷」 （普通救命講習Ⅲは新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により消防署の見通しが立たず延期）												
	【令和２年度の総括】 今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止せざるを得ない事業が多くありましたが「地域ぐるみの子育て支援に関するニーズ調査」として、ファミサポアンケートを実施し子育てについてどのようなニーズがあるのか分析し、令和３年度はニーズに基づいた具体的な活動に取り組みます。												

〔表１〕ファミリーサポートセンター援助活動の状況

内 容	令和2年度	前年度比
保育所・幼稚園の登園前の預かり	4 回	△ 10 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	17 回	△ 9 回
保育所・幼稚園の送り	32 回	△ 101 回
保育所・幼稚園の迎え	61 回	△ 137 回
学童保育終了後の預かり	8 回	0 回
学童保育開始前の預かり	0 回	△ 55 回
学校の放課後の預かり	0 回	0 回
学校の登校前の預かり	5 回	4 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	0 回	0 回
保護者等の外出の場合の援助	1 回	△ 2 回
小学校へ／からの小学生の送迎	203 回	106 回
学童保育へ／からの小学生の送迎	12 回	△ 72 回
子どもの病気時の援助	0 回	0 回
子どもの習い事等の場合の援助	15 回	△ 142 回
保育所・学校等休み時の援助	6 回	△ 2 回
保育所等施設への入所前の援助	0 回	0 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0 回	0 回
保護者等の求職活動中の援助	0 回	△ 1 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	5 回	5 回
その他	3 回	3 回
合 計	372 回	△ 413 回

※ 1 回の活動に複数の区分に該当する場合はダブルカウントしています。

〔表２〕産前産後家庭サポート援助活動の状況

内 容	令和2年度	前年比
家事支援（食事の準備）	3 時間	3 時間
家事支援（居室等の掃除）	2 時間	0.5 時間
家事支援（洗濯）	0 時間	△ 1.5 時間
家事支援（買い物）	1 時間	1 時間
育児支援（もく浴の介助）	2 時間	△ 2 時間
育児支援（授乳の補助）	0.5 時間	0 時間
その他	1.5 時間	△ 2.5 時間
合 計	10 時間	△ 1.5 時間

令和 2 年度

事業報告

公益事業区分

公益事業

I 地域包括支援センター事業			
1	地域包括支援センター	担当	相談支援係
令和2年度 事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
(1) 包括的支援事業 ①第一号介護予防支援事業 事業対象者に支援計画を作成し、訪問型、通所型サービスを適切に提供し、自立した生活が続けられるよう支援します。また、要支援認定を受け、総合事業のみ利用する場合も第一号介護予防支援事業として一体的に支援します。 ②総合相談支援業務 本人、家族、地域住民、ネットワーク関係者などからの情報をもとに、高齢者宅を訪問することで心身の状況や家庭環境などを把握し、相談者に適切な支援や提案を行います。 (2) 権利擁護業務 ①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待への対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止 (3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務 ①包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 介護支援専門員が社会資源を活用できるよう地域の連携、協力体制を整備します。 ②介護支援専門員に対する支援 支援困難ケースなどについて、助言や同行訪問を行い円滑な業務ができるよう後方支援を行います。 ③ケアマネサロンの開催 「日高市ケアマネ連絡会」での協議により、年6回、資質の向上を目的とした事例検討会や外部講師による研修会などを行います。 (4) 在宅医療・介護連携推進事業 ①飯能地区在宅医療・介護連携推進会議への出席 ②多職種連携座談会 飯能・日高ワールドカフェへの参加		(1) 包括的支援事業 ①第一号介護予防支援事業 訪問介護、通所介護のみを利用しているかたに介護予防ケアマネジメント対象者としてサービスの利用を提供しました。 ②総合相談支援業務 延べ1,801件（昨年度1,471件）の総合相談がありました。 (2) 権利擁護業務 ①成年後見制度の活用 制度の活用や周知に努めました。 ②高齢者虐待への対応 延べ29件（昨年度98件）の支援を実施。 ③困難事例への対応 延べ1,092件（昨年度879件）の支援を行いました。支援の長期化・複雑化に伴い、多機関との連携が必要となっています。 ④消費者被害の防止 日高市消費生活相談センターと連携し、被害の防止に努めました。 (3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務 ①包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 地域包括ケアシステムの推進に向けて関係機関、自治会、ボランティア団体、企業との連携に努めました。 ②③介護支援専門員支援、ケアマネサロン開催 延べ355件（昨年度274件）の支援とケアマネ連絡会、ケアマネサロンの開催を通じて介護支援専門員の資質の向上に努めました。 (4) 在宅医療・介護連携推進事業 ①②多職種連携座談会 飯能・日高ワールドカフェへの参加	

③「在宅医療連携拠点はんのう」との連携 (5) 認知症総合支援事業 ①認知症初期集中支援事業 認知症初期集中支援チーム検討委員会への出席、初期集中支援チーム員会議を通じて認知症のかたの支援に努めます。 ②認知症地域支援推進員の活動 認知症地域支援推進員の定例会議を通じ、認知症サポーター養成講座、認知症カフェを開催し、地域のかたに認知症についての正しい知識の普及啓発、当事者の社会参加の機会、介護者の交流の場を提供します。 ③認知症家族・当事者への支援 オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施を支援し、認知症のかた、およびその家族や支援者の社会参加を支援します。 ・「もみじ茶屋」主催：こま川団地自治会（第3水曜日） ・「オレンジカフェ東急」主催：東急オレンジカフェ実行委員会（第4火曜日） ・「オレンジカフェ田波目」主催：田波目区自治会（第4金曜日） (6) 生活支援体制整備事業（第2層担当） 第2層の生活支援コーディネーターとして担当圏域のニーズと既存の社会資源の把握、担い手作りなど、住民共助の活動の充実に努めます。また、今年度は、高麗川地区の介護保険事業所でケアラー支援するための介護者サロンの定期開催と圏域型地域ケア会議の開催を目指します。 商業施設での健康づくりイベントは今年度も実施する予定です。 (7) 地域ケア会議の充実 ①ケアマネジメント支援型地域ケア会議の参加 市が主催するケアマネジメント支援型の地域ケア会議への出席、調整、進行を行います。 ②圏域型地域ケア会議 自治会や行政区単位で高齢者の実態把握及び地域課題の共有のための会議を定期的に行います。 (8) 指定介護予防支援業務	書面会議で参加。市民フォーラムは飯能・日高ケーブルテレビ、YouTube を利用して開催しました。 ③「在宅医療連携拠点はんのう」との連携 在宅医療連携拠点はんのうとの情報交換は書面会議で開催。『入退院時連携ガイドライン』の説明と配布があり、活用に向けた周知をしました。 (5) 認知症総合支援事業 ①認知症初期集中支援事業 定期チーム員会議に参加。認知症相談として41件の報告を行い、医師等からのアドバイスを貰うことで認知症の方の支援に努めました。 ②認知症地域支援推進員の活動 定期会議に参加。認知症サポーター養成講座の開催はせず東急こまがわ区の広報にて認知症関連の普及啓発のための記事を掲載しました。 ③認知症家族・当事者への支援 オレンジカフェは全地域で中止となり、代替として認知症出前講座を企画しましたが、申し込みはありませんでした。 (6) 生活支援体制整備事業（第2層担当） 原宿区に2層協議体を立ち上げ、安否確認のチラシを作成し、協議体のメンバー等により心配な高齢者宅を訪問し、チラシの配布と安否確認を実施しました。また、今年度も市内商業施設と市内企業と連携し、居場所づくりに向けた介護予防イベントを実施し定員40名の参加がありました。 介護者サロンは延期となりましたが、感染終息後の開催に向けて検討をしました。 (7) 地域ケア会議の充実 ①ケアマネジメント支援型地域ケア会議の参加 会議における検討ケースの選定、ケースに関する助言をしました。 ②圏域型地域ケア会議 原宿区で地域ケア会議を立ち上げました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で不定期の開催となりましたが、心配なかたの情報交換や
---	--

訪問型、通所型サービス以外のサービスを希望されるかたは要介護認定申請をしていただき、介護予防給付によるサービス提供を行います。

(9) 一般介護予防事業

①日高ロコトレ教室

②脳イキイキ教室

認知症予防に特化した「脳イキイキ教室」を高麗川南公民館、日高アリーナで実施し、認知症予防に努めます。

③地域介護予防活動支援事業

住民主体の「くりくり元気体操」の普及とその活動を支援する介護予防ボランティア（くりくりサポーター）の支援に努めます。

(10) その他の事業

①認知症サポーター養成講座の開催

②救急医療情報キットの配布（随時）

③介護マークの交付（随時）

④日高市地域包括支援センター便りの発行（年2回）

⑤日高市情報交換会の実施（隔月）

⑥在宅看護実習生の受け入れ（埼玉医科短期大学）

⑦介護保険制度説明などの出前講座の実施

地域課題の話し合いを行いました。

(8) 指定介護予防支援事業

要支援認定者のかたに適切な介護予防プランを作成しサービスを提供しました。

(9) 一般介護予防事業

①日高ロコトレ教室

年度当初より休止が続きましたが、感染防止対策を行い、2公民館にて計4回開催し、ロコモティブシンドロームの予防に努めました。

②脳イキイキ教室

当初休止していましたが、事前予約制などの感染予防対策を行い、9月から再開。認知症予防の普及啓発と早期発見に努めました。

③地域介護予防活動支援事業

年度当初、くりくり元気体操の休止等がありましたが、対策を講じ活動を再開するグループも徐々に増えました。

(10) その他の事業

①②③⑤の各事業及び情報交換会については、適宜対応を行いました。

④市内3包括共同で介護予防に関する情報を発信しました。

⑥7名の実習生を受け入れ、地域ケアや介護予防の重要性を学んでいただきました。

⑦日高市民生児童委員地域福祉部会にて、包括支援センターの業務等について講座を開催しました。

【令和2年度の総括】

年度当初からの新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による緊急事態宣言により、計画していた予防事業は休止となりました。来年度もこの状況が続くことが予想されるため、コロナ禍における「新しい生活様式」での包括的支援方法やフレイル（虚弱・不活発）予防のための介護予防事業の企画、提供に努めます。

令和2年度 事業実績表																						
センター名	高麗川地域包括支援センター			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計						
総合相談事業	計(電話・来所・訪問・文書) A			107	74	136	163	176	183	145	147	188	163	143	176	1801						
	電話 来所 訪問 文書 (再掲)認知症に関連する総合相談	電話		81	50	77	118	118	122	99	98	127	109	106	126	1231						
		来所		16	12	26	10	27	35	18	23	20	20	13	18	238						
		訪問		5	7	26	27	29	22	23	26	38	23	22	27	275						
		文書		1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5					
		(再掲)認知症に関連する総合相談		4	5	7	6	2	4	5	0	3	10	2	4	52						
	相談実人数			42	37	62	67	72	79	67	67	65	69	62	79	768						
権利擁護事業	相談件数	計 B			75	104	105	145	79	71	112	78	107	21	79	146	1122					
		延件数	成年後見制度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1						
			高齢者虐待	3	1	0	2	0	1	22	0	0	0	0	0	29						
			困難事例	72	103	105	143	79	69	90	78	107	21	79	146	1092						
			消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		計			17	16	20	25	19	14	18	18	11	10	21	210						
		実人数	成年後見制度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1					
			高齢者虐待	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	6					
			困難事例	16	15	20	24	19	12	14	18	11	10	21	21	201						
			消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	高齢者虐待対応	訪問調査に至った件数	延件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1					
			実人数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1					
		立入につなげた回数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		「やむを得ない事由」、「環境上・経済上の理由」による入所措置(実人数)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	ケア体制の構築	圏域型地域ケア会議開催件数			0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	5						
		個別ケース型地域ケア会議開催件数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	日常相談業務	ケアマネ相談件数(延件数) C			28	16	26	43	32	35	34	31	28	35	18	29	355					
		サービス事業者相談(延件数) D			12	14	11	18	12	6	14	10	21	11	8	16	153					
	その他の連携	医療機関との連携(延件数)			23	37	46	39	25	28	23	20	30	31	23	25	350					
第1号介護予防支援事業	介護予防ケアマネジメント実施状況	その他の機関との連携(延件数)			39	24	49	79	43	44	54	48	61	77	62	47	627					
		介護予防ケアマネジメント件数			53	54	64	65	58	57	60	60	62	61	61	59	714					
		内、業務委託件数			28	29	30	29	26	25	25	24	24	24	23	23	310					
		業務委託事業者数			6	6	7	7	6	6	6	6	6	7	6	5	74					
指定介護予防支援業務	介護予防支援実施状況	介護予防支援事業件数			93	89	92	92	94	91	94	93	88	90	84	87	1087					
		内、業務委託件数			46	42	46	46	46	43	44	41	37	36	32	34	493					
		業務委託事業者数			10	10	10	10	10	10	9	9	8	7	7	7	107					
認知症総合支援事業				認知症カフェ・出前相談の実施回数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
				参加者数(ボランティアを含む)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
認知症予防教室				脳イキイキ教室の実施回数			0	0	0	0	2	2	2	0	0	1	9					
				参加者数(ボランティアを含む)			0	0	0	0	0	10	16	11	10	0	5	52				
一般介護予防				日高ロコトレ教室の実施回数			0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4				
				参加者数(ボランティアを含む)			0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	14	34				

公益事業

Ⅱ 障がい者就労支援センター

【市受託事業】

1 障がい者就労支援センター	担 当	相談支援係																																																												
令和2年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題																																																													
1 障がい者就労支援事業 障がい者の就労の機会の拡大を図るとともに、障がい者が身近な地域において安心して働き続けられるよう、就労の促進を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を図ることを目的として、日高市障がい者就労支援センター「えるむ」を運営します。 ①職業相談 ②就労準備の支援 ③職場開拓 ④職場実習の支援 ⑤職場定着の支援 ⑥離職時の調整及び離職後の支援	1 障がい者就労支援事業 就労支援員が、相談によるアセスメントを実施し、登録による支援の可否などの見通しを確認、登録者に必要な情報提供やアドバイス、職能判定、ハローワーク等への同行支援による就職活動支援や、職場定着などの継続的な支援を行いました。 (内容及び実績) <table><tr><td></td><td>身体</td><td>知的</td><td>精神</td><td>他</td><td>計</td></tr><tr><td>就労相談件数</td><td>211</td><td>285</td><td>698</td><td>110</td><td>1,304</td></tr><tr><td>新規登録者人数</td><td>2</td><td>7</td><td>21</td><td>4</td><td>34</td></tr><tr><td>一般就労人数</td><td>4</td><td>4</td><td>8</td><td>1</td><td>17</td></tr><tr><td>就労継続支援 A 型事業所</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>就労準備支援件数</td><td>80</td><td>137</td><td>302</td><td>135</td><td>654</td></tr><tr><td>職場実習支援件数</td><td>4</td><td>18</td><td>29</td><td>2</td><td>53</td></tr><tr><td>職場定着支援件数</td><td>642</td><td>1,218</td><td>958</td><td>34</td><td>2,852</td></tr><tr><td>生活支援件数</td><td>10</td><td>148</td><td>46</td><td>2</td><td>206</td></tr><tr><td>職場開拓件数</td><td colspan="5">58</td></tr></table>			身体	知的	精神	他	計	就労相談件数	211	285	698	110	1,304	新規登録者人数	2	7	21	4	34	一般就労人数	4	4	8	1	17	就労継続支援 A 型事業所	0	0	2	1	3	就労準備支援件数	80	137	302	135	654	職場実習支援件数	4	18	29	2	53	職場定着支援件数	642	1,218	958	34	2,852	生活支援件数	10	148	46	2	206	職場開拓件数	58				
	身体	知的	精神	他	計																																																									
就労相談件数	211	285	698	110	1,304																																																									
新規登録者人数	2	7	21	4	34																																																									
一般就労人数	4	4	8	1	17																																																									
就労継続支援 A 型事業所	0	0	2	1	3																																																									
就労準備支援件数	80	137	302	135	654																																																									
職場実習支援件数	4	18	29	2	53																																																									
職場定着支援件数	642	1,218	958	34	2,852																																																									
生活支援件数	10	148	46	2	206																																																									
職場開拓件数	58																																																													
【令和2年度の総括】 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、新規の就労相談が増えましたが職場見学、実習が制限されたため就労者は減少しました。定着中の方からの休職や離職の相談対応も多く、途中、支援員が1名欠員となり増加するニーズに対応できなかったため、支援体制の見直しが課題となっています。																																																														

公益事業

Ⅲ 生活困窮者等自立相談支援事業

【市受託事業】

1 自立相談支援センター

担 当

相談支援係

令和2年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

1 生活困窮者等自立相談支援事業

生活に困窮しているかたに、生活保護の受給に至る前の段階で、自立に向けた支援を行うことによって、課題がより複雑化・深刻化する前に自立の促進を図るよう支援します。

(1) 相談支援業務

- ①アセスメントによりプラン案の作成
- ②支援調整会議の開催
- ③無料職業紹介事業
- ④職員の資質向上のための研修受講促進

(2) 地域づくり・地域連携業務

行政、関係機関、市民との連携を進めます。

- ①普及・啓発促進
- ②新たな社会資源の検討・その他情報の活用と連携
- ③子ども食堂支援
- ④生活の困りごとなどの出前相談
- ⑤無料法律相談
- ⑥フードバンク・フードドライブの実施

2 生活困窮者就労準備支援事業【新規】

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの一貫した支援を計画的に実施します。

1 生活困窮者等自立相談支援事業

生活困窮者等の自立と尊厳の確保に向けた相談支援を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大による減収などから困窮状態に陥る人（世帯）の相談が急増しました。

(内容及び実績)

相談実績		支援実績		周 知	
相談受付	473	調 整	1,406	出前相談	0
申 込	37	相談支援	1,033		
		同行支援	28		
		食糧支援	77		

【令和2年度の総括】

- ・ 相談受付件数と支援実績については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による減収などから、昨年度と比較して1～3倍に増加しています。相談の増加に伴い、同行支援などは減少しています。
- ・ これまで市役所や公民館で定期開催してきた、出前相談については、中止としました。
- ・ 無料法律相談については、4月～6月、令和3年1月を中止としました。7月からの相談者の延べ人数は23名です。
- ・ コロナ禍における生活応援ということで、年末フードパントリーを実施し、67世帯への食料提供を行いました。

2 生活困窮者就労準備支援事業【新規】

様々な理由により、社会参加へのブランクのある人に対して、段階を踏んだ支援を行いました。

【令和2年度の総括】

評価の段階での事業利用は7件です。いわゆるひきこもりの相談については、家族から相談につながるものがほと

3 生活困窮者家計相談支援事業【新規】 生活困窮者自立支援法に基づき、家計に課題を抱える生活困窮者に対して、必要な情報の提供又は専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再生されるよう支援します。	んどですが、本人との相談に結びつかないことも多く、また相談に至るまでに時間を要することも課題です。 3 生活困窮者家計相談支援事業【新規】 評価の段階での事業利用は 27 件です。生活困窮者の多くが家計に課題を抱えているため、初期相談の段階で把握を行い、改善に向けた助言などを行ってきました。状況により、弁護士への相談や、貸付へのつなぎを行いました。 【令和 2 年度の総括】 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による減収のある世帯に対しての特例貸付について、自立相談支援機関の支援が要件となっているものもあり相談が急増しました。また、要件が緩和されたことにより、これまでに利用に結びつかなかった住居確保給付金の利用も 26 件ありました。 特例貸付の終了後には、これまで以上の支援が必要となる相談者が増加することが予測され、今後は、より細やかな支援が必要となります。
--	--

公益事業		
Ⅳ 生活支援体制整備事業		【市受託事業】
1 生活支援体制整備事業	担当	地域福祉係
令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
1 生活支援体制整備事業 高齢者世帯や認知症高齢者が増加する中、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に担っていくことを目的として実施します。 (1) 生活支援コーディネーター(第１層)の配置 生活支援コーディネーターを配置し、多様な主体による多様な取組の調整業務を行うことにより、地域における一体的な生活支援等サービスの提供体制の整備を推進します。 (2) 協議体の運営 生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体による多様な取組の参画を進めるため、生活支援コーディネーターと多様な活動団体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として 設置された協議体を運営します。	1 生活支援体制整備事業 (1) 生活支援コーディネーター(第１層)の配置 ①生活支援コーディネーター会議 第１層、第２層コーディネーター間の情報共有を目的としてコーディネーター会議を開催しました。(新型コロナウイルス感染症感染拡大により８回開催) ②地域居場所づくりの支援 ・地域おたすけ隊拠点探し ③会議等参加(地域支援・団体支援・情報共有) 地域支援等を目的として、各種会議に参加し、課題把握や情報共有を図りました。 ・各地域おたすけ隊(４隊)会議 ・地域おたすけ隊コーディネーター会議(年３回) ・ケアマネジメント支援型地域ケア会議(書面１回、４回) ・こま武蔵台福祉ネット定例会議(隔月) ・傾聴ボランティア団体定例会 ・第２層協議体(武蔵台、高萩団地、日高団地、こま川団地、原宿) ・県社協から情報提供 ・近隣市町村の地域支え合い事業の情報交換(坂戸市主催) ④サロン等の集いの場への訪問 たかねサロン、こま武蔵台福祉ネットふれあいサロン (2) 協議体の運営 ①第１層協議体 地域包括支援センター及び日高市長寿いきがい課と協議しながら、第１層協議体を事務局として開催しました。(表１参照) 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、協議体の開催中止の間、アンケートを実施しました。	

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
(3) 担い手養成に向けた取組 地域生活支援体制の構築に向けて、区長（福祉委員）や民生委員などの関係者に向けた事業周知及び協力の呼びかけを強化します。 また、地域福祉の裾野を広げるため、担い手の確保を進めることを目的とした養成講座を実施します。	②資源マップの作成 これまでの協議体開催で見えてきた社会資源を地域で支援する人を対象に QR コードを活用したマップを作成しました。 ③日高市社協ホームページをリニューアル 体制整備事業と協議体などの周知を目的として日高市社協ホームページに「第１層協議体」のページを増やしました。 ④４市２町合同生活支援体制整備 生活支援体制整備を推進していく協議体の在り方を学び、協議体の活性化を図るため、他市町村の取り組みを学び、情報共有を通じて生活支援体制整備事業と協議体役割について理解を深めるためオンラインでの会議の実施と、コロナ禍であっても地域とのつながりや活動の支援などに工夫をしてきた生活支援コーディネーターの活動を報告書にまとめました。 報告書 ４市２町合同生活支援体制整備協議体報告書～SC のコロナ禍での取り組み～ 作 成 飯能市、坂戸市、日高市、鶴ヶ島市、毛呂山町、鳩山町の各市町生活支援コーディネーター、埼玉県社協 (3) 担い手養成に向けた取組 地域生活支援体制の構築に向けて、事業周知及び協力の呼びかけを強化しました。 また、高麗地区に地域おたすけ隊を設立するため、担い手の確保を進めることを目的とした説明会や設立準備会を実施しました。 ①事業周知関係 ・第１層協議体ダイジェスト版（社協ホームページ掲載） ②担い手養成 ・地域おたすけ隊説明会（高麗地区区長会） ・高麗地域おたすけ隊設立準備会 [生活支援体制構築に関する取組等] ①連絡調整 ・ガイドヘルプボランティア依頼調整 ・傾聴ボランティア依頼調整 ・運転ボランティア依頼調整 ②研修会等参加 ・生活支援コーディネーターブロック別連絡会議 ・プラチナ・サポート・ショップ説明会

令和２年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
	・生活支援コーディネーター課題別研修 ③その他 ・武蔵台地区グリスロによる実証実験会議参加 ・ボランティアサポーター養成講習会見学 ・地域福祉フォーラムに協力（社協主催） ・オンライン講座に協力（社協主催） 【令和２年度の総括】 第１層協議体における協議を踏まえ、地域資源の把握と周知を図るため、資源マップを作成しました。コロナ禍により地域の社会資源の状況が変化していることから、詳細情報をインターネット上で更新、確認できるよう工夫しました。 また、新たな担い手の養成支援として、地域おたすけ隊が設置されていない地区での立ち上げを支援し、準備を進めています。 今後の第１層協議体の役割を整理し、市内における新たな社会資源の開発や、課題解決のための連携の機会として強化を図る必要があります。

〔表 1〕 第 1 層協議体開催内容

第 1 回	日時	令和 2 年 10 月 2 日（金） 14:00～16:00
	場所	総合福祉センター「高麗の郷」生涯学習室
	出席者	20 名：各地域おたすけ隊主任コーディネーター、民生・児童委員協議会会長、自治会長、サロン代表、防災士、市民後見関係、NPO 法人たすけあい日高代表、こま武蔵台福祉ネット代表、高齢者クラブ、生活クラブ生協、医療生協さいたま、第 2 層生活支援コーディネーター
	テーマ	コロナ禍でやってきたこと・どのように集まれるか
	主な内容	・生活支援コーディネーター活動報告 ・アンケートの集計結果 ・活動が制限される中で、コロナ禍でも工夫をして実施した内容や感染対策も含めどのようにしたら集まれるかをグループワーク ・一つの手段としてオンラインの活用を知ってもらうため、グループワークの内容をオンラインで体験しながら共有
第 2 回	日時	令和 2 年 11 月 19 日（木） 14:00～16 : 00
	場所	生涯学習センター 視聴覚室
	出席者	21 名：各地域おたすけ隊主任コーディネーター、民生・児童委員協議会会長、自治会長、サロン代表、市民後見関係、NPO 法人たすけあい日高代表、こま武蔵台福祉ネット代表、高齢者クラブ、生活クラブ生協、医療生協さいたま、第 2 層生活支援コーディネーター
	テーマ	マップについて
	主な内容	・生活支援コーディネーター活動報告 ・マップ作成にいたるまでの経緯と今後作成するマップについて説明 ・インターネットを活用したマップのイメージを説明